研究科横断型英語による授業提供

山口大学経済学部 今津 武

- 1. グローバル化の進む中で、大学の国際化が各方面から望まれ、期待されている。この国際化に関しては、各大学の置かれた状況によっては、その内容や対応は異なるものと考えられる。ここでは、留学生に対する英語による授業提供につき現状を報告したい。英語のみで学位を授与出来るカリキュラムを完全な形で備え、学生の募集を行っているのは、山口大学では経済学研究科「公共管理コース」(詳細は**別添「資料1」**参照)のみである。
- 2.「公共管理コース」は、政府開発援助による開発途上国の人材育成プログラムを支援する形で設置され、現在まで主としてバングラデシュ、インドネシア、フィリピンの公務員を受け入れてきた。このため、公共管理、経済の専門分野での知識を修得させるだけでなく、日本が過去の開発、発展の中で経験し学んだこと、現在の社会、行政の仕組み(以下、「日本の経験等」)を学ぶ機会を提供することの必要性が、設置後 10年間の経験から感じられ、また学生からも要望されている。
- 3.「日本の経験等」を学ぶ事は、「公共管理コース」学生に限らず、日本留学を希望した 学生全てにとっても望ましいと考えられる。日本語での受講が可能な学生にとっては、 現在でも多様な科目を選択でき、「日本の経験等」を学ぶ機会は準備されていると理解 できる。一方、主として英語での授業の方が理解しやすいという留学生、特に大学院 レベルの学生にとっては、「日本の経験等」を学ぶ機会が極めて不足していると考えら れる。大学院レベルでは種々の留学プログラムによる、公的分野からの学生も多く、 彼らの多くは専門分野での研究に加え、「日本の経験等」を学ぶ機会があれば喜んで参 加するであろう。
- 4.以上の認識に立って、経済学研究科「公共管理コース」の内容充実の一環として、研究科、学部を越えた教員、更には学外リソースを活用して、多様な分野での「日本の経験等」を学ぶための英語による授業科目の新設に向けて準備を進めてきた。同時に、この授業科目は、経済学研究科のみでなく、全ての研究科学生のための共通科目とする事も大きな目標としている。このことにより、山口大学の全ての研究科カリキュラムに英語での提供科目が、それぞれの研究科教員の負担を軽減しつつ、しかも高いレベルで提供が可能になると考えている。
- 5.「研究科横断型英語による授業」提供への試みとして、今年度は以下のような特別 プログラムを実施した。
 - (1) 他研究科教員による特別講義:主としてアジア諸国の公務員である「公共管理コース」留学生に、彼らが学んでいる日本や山口の社会、行政、歴史をより深く理解

してもらうために、経済学研究科以外の各専門分野の教員による授業を1月16日~20日の間、JICA バングラデシュ事務所からのTV 会議システムを介した特別講演を含み、別添日程(「資料2」)の通り実施した。本授業は全学留学生に参加を呼びかけた結果、農学研究科、理工学研究科、東アジア研究科(博士課程)からの受講者も含め、参加学生は毎回20名前後であった。(最小18名、最大23名)今年度においては単位授与の科目とはしないが、本年度の授業を評価した上で、来年度以降は単位授与科目とすることも検討している。

- (2) 他研究科教員による授業の一部をバングラデシュ、インドネシアで模擬授業として公開し、関係者の評価を得ることとした。その結果を踏まえ「公共管理コース」カリキュラム拡充に向けた参考とする。実施時期はバングラデシュでは2012年2月5日から14日間の予定で実施済みであり、インドネシアは3月中旬の実施が確定している。
- (3) 中央省庁訪問:昨年から実施し学生からも高い評価を得た日本の行政の中核を担う中央官庁を訪問し、若手行政官よる「各省庁の役割及び各省庁が直面している課題」についての講義(60分~90分)を受けるとともに、学生を交えての質疑応答(30分程度)を実施する。今年は1月30日~2月2日の間、人事院、財務省、外務省、農林水産省、JICAを訪問し、別添日程(「資料3」)のとおり実施した。参加学生は「公共管理コース」及び東アジア研究科の13名である。
- (4) 防府市訪問:日本の防災及び災害復興の仕組みを理解する目的で、2009年に発生した防府市における洪水、地滑り被害を事例として取り上げた。12月12日(月) 防府市役所、山口県防府土木建築事務所、国土交通省山口河川国道事務所を訪ね、各組織の災害時における役割や防災対策についての説明を受けた。更に被害地域における復興工事の状況を視察した。

学生からは高い評価があり、開発途上国の大きな課題である「防災」については、より体系的に時間をかけて授業を受けたいとの要望があった。来年度には、他研究科教員とも協議し内容の拡充を図る予定である。

- (5) 山口県庁訪問:日本の地方行政の一端を理解するため、2月7日(火)午後、山口県庁を訪問し、山口県の概要及び山口県の課題やそれへの対応について、総合政策部政策企画課 北村敏克調整監より説明を受けた。県からは渡邉繁樹観光交流局長、同局林省一国際課長他が出席し、講師とともに学生の質問に対応された。
- (6) JICA バングラデシュ事務所・戸田隆夫所長の「Re-definding "Results" in the context of development cooperation」と題するテレビ会議システムを介した講演を特別授業の一環として、1月17日(火)に実施した。なお、本イベントは経済学部商品資料館 2 階に開設した「経済学部国際情報室」の開設記念講演ともなった。

以上

山口大学大学院経済学研究科「公共管理コース」概要

- 1. 日本政府は、政府開発援助 (ODA) の途上国人材開発事業の一環として、種々のプログラムを活用した留学生受入を行っている。山口大学では2002年にODA事業の実施機関であるJICAの要請を受け、経済学研究科に「公共管理コース」を開設し、本年度入学者を含め37名の学生を受け入れて来ている。本コースは全ての授業を英語で提供しており英語のみで学位を取得できる修士課程である。
- 2.「公共管理コース」は、当初、日本政府の無償資金協力による留学生(JDS留学生)の受入のために開設され、バングラデシュ、インドネシア、フィリピンからの留学生を受け入れた。コースではJDSの目的である途上国の公務員のために必要となる経済、財政、公共管理の分野の科目を開講してきている。昨年からは日本政府の円借款による留学生(インドネシア)、一般留学生(サウジアラビア政府奨学金)も加わり、本年からはJICA技術協力による長期研修生(修士課程への留学、本年度は研究生として受入)も加わっている。
- 3. 過去の10年の「公共管理コース」運営の経験から、経済学研究科では開発途上国の開発 及びそれを実施する政府のガバナンスにとって、公務員の質的向上(知識及び規範)が 重要であると考え、本コースを一層充実させ主としてアジア諸国の公務員人材開発に寄 与してゆきたいと考えている。今回の特別授業はその一環として実施するものである。
- 4. 現在の「公共管理コース」在籍者の内訳は以下の通りである。
 - (1) 2年生: バングラデシュ2名 (JDS), インドネシア2名 (円借款), サウジアラビア1名 (サウジ政府奨学金)
 - (2) 1年生: バングラデシュ2名 (JDS), インドネシア6名 (円借款)
 - (3) 研究生:アフガニスタン1名(技術協力) なお,東アジア研究科(後期3年博士課程)にも「公共管理コース」と同じプロフラム(円 借款)により、1名のインドネシア留学生が在籍中である。
- 5. 「公共管理コース」では、アジア諸国からの留学生受入を継続的に行うため、各国の公務員研修のニーズ調査の他、バングラデシュでは公務員研修所における短期講座の提供等を行っている。

Time Schedule of Special Lecture on Japan's Public Administration and its Experiencies

Date		Time	Title	Lecturer		Outline of the lecture	Place
Jan. 16	i Mon	10:20:- 11:50	The History and Innovation of Petrochemical Complex in Japan Concerning the Case of RING (Research Association of Refinery Integration for Group- Operation)	Prof. INABA, Kazuya	Graduate School of Innovation and Technology	and ways of the high-level integration for group operation in petrochemical complex are reported, the meaning of RING projects is d	2nd Floor, Commodity Museum, Faculty of Economics
		14:30- 16:00	History of Sustainable Energy Policies and Development of Green Energy Technologies in Japan	Prof. FUKUYO, Kazuhiro	Graduate School of Innovation and Technology	(1) Brief history of sustainable energy policies (Especially, after the oil crises and Kyoto protocol) (2) Development of green energy technologies under the sustainable energy policies (3) Science and technology policies, ecological tax reforms, bounty systems for saving energy and developing renewable energy	2nd Floor, Commodity Museum, Faculty of Economics
Jan. 17	Tue	12:00- 13:00	in the context of development	Dr. TODA, Takao: Chief Representative	Bangladesh office, Japan International Cooperation Agency	The role of international Aid for promoting the economic and social development in developing country based on an experience in Bangladesh. Delivered through TV conference system from JICA Bangladesh Office. The lecture will consist of Japan's experience in health care and medicine especially over the	2nd Floor, Commodity Museum, Faculty of 2nd Floor.
Gan. 17	140	14:30- 16:00	Japan's experience in the field of health and medicine	Lecturer Hossain MD MAHBUB	Graduate School of Medicine	past 60 years. It will provide an overview of healthcare system in Japan emphasizing the universality in health care. This lecture will also focus on the major health challenges including rates and distribution of mortality in Japan since World War II and highlight the factors that helped to achieve remarkable success in improving the health status of the entire population.	Commodity Museum, Faculty of Economics
Jan. 18	Wed	14:30- 16:00	Overviews of Japan's Education	Associate Prof. SASAKI Tsukasa	Graduate School of Education	This one-shot lecture introduces various aspects and background of education in Japan. It addresses to the historical change of the school system, the conditions of educational administration, and the current issues regarding teacher training. Topics Covered: 1. How were the Japanese people motivated to attend school in the Meiji Period? 2. How and why was the multi-track education system changed to the single track system? 3. How is the local education administration conducted? 4. Where are prospective teachers trained and how are they appointed?	2nd Floor, Commodity Museum, Faculty of Economics
Jan. 19	Thr	14:30- 16:00	Japanese Beef Cattle, Wagyu	Associate Prof. KADOKAWA, Hiroya	Graduate School of Agriculture	reassurance, and their technologies are very famous in the world. In this lecture, we learn the events in history of Japanese cattle, as well as recent topics in farmers and consumers in Japan and foreign countries.	
Jan. 20	Fri	10:20:- 11:50	The postwar problems of agriculture and agro- politics in Japan	Prof. ITOHARA, Yoshihito	Graduate School of Agriculture	Development processes and problems of the agriculture and the industry of our country after the world war II are told in this lecture. And the development processes of the agro-politics are described according to that. In addition we refer about the effects of the agro-politics after that. Based on the result, we think about a way to agricultural revival in Japan.	2nd Floor, Commodity Museum, Faculty of Economics
		12:50- 14:20	Natural disaster prevention public administration in Japan and hazard map	Associate Prof. ASAI, Koji	Graduate School of Science and Engineering	Japan is a highly natural disaster risk country, so that natural disaster prevention is very important issue to discus. This lecture gives a public administration for natural disaster prevention in Japan. Recently, soft measures for natural disaster prevention have attracted	2nd Floor, Commodity Museum, Faculty of Economics
		14:30- 16:00	Environmental Restoration in Sea and River	Prof. SEKINE, Masahiko	Graduate School of Science and Engineering	Give a lecture on history of Japanese environmental protection, current environmental restoration activity, and an example of environmental restoration activity in Yamaguchi.	2nd Floor, Commodity Museum, Faculty of

<資料3>

Special Lectures at the Ministries of Central Government

Date		Time Ministry		Lecturer	Theme	Remarks
Jan. 30	Mon.	14:00-16:00	Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries,	Mr. WATANABE, Yoshiyuki	Roll of the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries and the Current State of Japan's Agriculture	with interpreater
Jan. 31	Tue.	10:00-12:00	Ministry of Foreign Affairs	Officials in charge	Country Assistance Program and Bilateral Relations with Participnat's Home Country	in English
Jan. 31	Tue	13:30-15:30	National Personal Authority,	Mr. MASUO, Hideki	Role of the National Personal Authority, and Japan's Public Servant System	with interpreater
Feb. 1st	Wed.	10:00-12:00	JICA Global Plaza	Mr. YAMAMOTO, Aiichiro	Development Cooperation in the Changing Aid Architecture	in English
Feb. 2nd	Thu.	13:15-14:45	Ministry of Finance	Mr. TABATA, Hidetaka	Role of the Ministry of Finance	in English
Feb. 2nd	Thu.	15:00-16:30	Ministry of Finance	Mr. JINZUU, Kouji	The Current State of Japan's Public Finance	with interpreater